

春 駈ける 区一の花

県内一周大分合同駅伝(第1日)



花の1区を疾走する女性ランナー

二豊路に春を告げる春季県体・第62回県内一周大分合同駅伝競走大会(県・県内各市町村・県教委・県体協・大分陸協・大分合同新聞社主催)は17日、開幕した。5日間で全39区間390・8キロ。全17郡市から16チームが出場し、郷土の誇りを胸に熱戦を展開する。第1日の17日は、大分市から佐伯市までの8区間73・4キロでレースを展開した。

午前9時、佐藤樹一郎大分市長の号砲を合図に大分合同新聞社前をスタート。「花の1区」を女子選手が力走した。

臼杵市役所前でいったんフィニッシュした。午後1時に川野幸男津久見市長の号砲で、津久見市上青江・垣籠(かつこもり)バス停前を選手たちが再出発し、佐伯市役所前を目指した。沿道では、園

児や仕事中の会社員、地域団体が温かい応援で選手を励ました。令和最初、そして東京五輪イヤーの大会が華やかにスタートした。

精鋭! 佐伯市チーム



大分合同駅伝佐伯新聞

創刊1886年(明治19年)
大分合同新聞社
〒870-8605
大分市府内町3-9-15
ニュースのご通報などは
TEL(097)536-2121
FAX(097)538-9674
朝夕刊 完全連続紙
単独販売の朝刊、夕刊、
統合版はありません。
ご購読のお申し込みは
フリーダイヤル 0120-510-374

新 超高速
新聞

大分合同新聞社「ぶんぶん号」は県内各地のイベント会場やスポーツ大会に出かけて「超高速新聞」を発行します。パソコンや高速カメラ、プリンターなどを搭載、その場で超高速新聞を編集、印刷して配布します。



トキハ本店



LINE

公式アカウント

@tokiwa_honten



お友だち追加方法

① LINEアプリより「友だち追加」を押します。

② 「QRコード」を押してコードを読み取ります。



こちらでもトキハ本店の情報を配信中!



Facebook



Instagram



TOKIWA
トキハの
スマートフォンアプリ



トキハ本店のホームページ
<http://www.tokiwa-dept.co.jp/honten/>



7870-8888 大分市府内町2丁目1番4号
電話 (097) 538-1111 大代表

大分合同駅伝『期待の若手』

郷土の誇り
×
たすき

杵築



藤元 裕也
(別府自衛隊・23歳)

自己ベスト大きく短縮
この1年で10キロの自己ベストを1分半短縮させた。「成長した姿を見せたい」と3回目の出走に挑む。

日田



三笥 天義
(日本管財環境・30歳)

復調のエースがけん引
前回大会は腰のヘルニアなどで調子を落としていたが、復調を果たす。若きエースは「みんなを引っ張る存在になる」と力を込める。

豊後大野



土谷 智紀
(日本文理大・21歳)

「区間賞を獲得」燃える
初出走した前回は2区間に臨み、いずれも区間2位だった。今回は「ぜひ区間賞を取りたい」と燃える。

竹田



練習量を大幅に上積み
テンポの良い走りが持ち味。昨春から毎日10キロ走をこなすなど練習量を大幅に増やしており、チームに流れをつくる活躍を誓う。
佐藤 志鳳 (日本製鉄大分・26歳)

大分



後藤 大地
(日本製鉄大分・26歳)

妻と出会い競技を再開
陸上競技者の妻のおかげで再び競技の道に帰ってきた。期待の新人は初の「県内一周」に燃えている。

臼杵



ぐんぐん伸びる努力家
今も成長を続けるエースが、巻き返しを狙うチームを奮い立たせる。「今でも伸びを感じ。本番で自分の走りを見せたい」と誓った。
大戸 強平 (戸高鉱業社・28歳)

別府



森 辰之介
(別府自衛隊・20歳)

勢いもたらす本格派
別府自衛隊の持続走訓練隊に所属する本格派。訓練の合間を縫って走り込みを続けてきた新人がチームに勢いをもたらしそうだ。

国東・東国東



松本 有起
(ニュージャパンマリン九州・35歳)

猛練習の遅咲きエース
出場3回目。チーム一の練習量を誇る遅咲きのランナーは「今までで一番走り込みができています。スタミナには自信がある」と手応えをのぞかせる。

由布



手嶋 純輝
(大分大・22歳)

「食らいつく」成長株
チーム一番の成長株。出場2回目となった前回は重要区間を任せられたが、「各チームのエースに歯が立たなかった。今大会は食らいつく」と燃えている。

豊後高田



福田 有馬
(国士舘大・22歳)

経験積んで快走誓う
前回は出走した全3区間で区間賞を獲得し、地元スタートの最終日の1区では区間記録を1分近く更新した。経験を積んだ自信と地元への思いを込め、快走を誓う。

佐伯



宿野 圭佑
(大分高専・20歳)

ラストランへ闘志
佐伯の主力として力走が期待されている。ただ県外企業への就職が決まっており、最後となる「県内一周」に闘志をかき立てている。

津久見



林 昌輝
(協和産業・19歳)

最下位脱出へ仲間鼓舞
野球で鍛え上げた地元出身の新人が、最下位脱出を誓うチームを鼓舞する。「野球も駅伝もチームプレー。レースで力を発揮したい」と意気込む。

中津



木暮 歩夢
(日本文理大・19歳)

先輩の走る姿に憧れて
地元陸上クラブのメンバーが風を切って走る姿に憧れ、11歳から走り続ける期待の新戦力は「中津のために」と燃えている。

速見



鈴木 聖矢
(別府市役所・25歳)

チームのムード高める
粘り強い走り、積極的な声掛けでムードを盛り上げる。今回は長距離区間での起用もありそう、例年以上に気合が入っている。

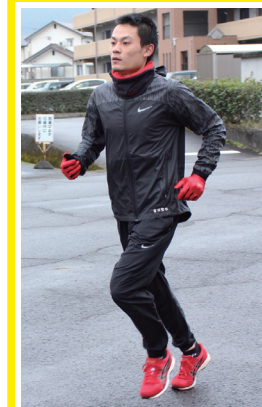
宇佐



井本 歩
(宇佐市役所・24歳)

初出場「とても緊張」
昨年、職場の上司や先輩に誘われて競技に復帰。初の大会は「とても緊張する」というが、「チームのために頑張りたい」と練習にも熱がこもる。

玖珠



富田 賢也
(玖珠自衛隊・26歳)

過去2回の雪辱へ決意
過去2回の大会では思うような走りができなかった。それだけに「今までで一番の走りを見せ、チームに貢献したい」と意気込む。

第62回
県内一周大分合同駅伝